

2016年11月21日

株式会社 リクルート ホールディングス

170人のクリエイターと有田の窯元がコラボレーション！

熊本地震復興支援チャリティー企画展

CREATION Project 2016『藍色カップ』開催

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO：峰岸真澄）が運営する2つのギャラリー「クリエイションギャラリーG8」「ガーディアン・ガーデン」(<http://rcc.recruit.co.jp/>)では、2016年11月22日（火）から12月24日（土）の期間、「CREATION Project 2016 170人のクリエイターと有田の窯元がつくる熊本天草陶石の磁器展『藍色カップ』」を開催いたします。

CREATION Projectとは

多くの方々にアートやデザインの楽しさを感じてもらおうと、1990年から始めた毎年恒例のチャリティー企画展。リクルートホールディングスが運営する2つのギャラリーと交流のあるクリエイターの方々にボランティアで制作していただいた作品を展示・販売し、収益金をチャリティーとして寄付してきました。2009年より、「CREATION Project」と題し、デザインの力による豊かな生活の提案を目指しています。2011年の東日本大震災以降は、被災した地域の産業を応援したいと、東北での物づくりにこだわり、2011年「印染トートバッグ」（岩手・宮城・福島・茨城で製作）、2012年「アロハシャツ」（福島）、2013年「石巻バッグ」（宮城）、2014年「東北和綴じ自由帳」（岩手・宮城・福島）、2015年「伊達ニッティング」（福島）を開催。被災地の子どもたちを支援するため、5年間で合計約1,134万円の寄付を行いました。

CREATION Project 2016『藍色カップ』概要

熊本県は豊かな天然資源に恵まれており、県西にある天草地方では陶磁器の原料である天草陶石が採掘されます。その歴史は長く17世紀頃から磁器に使用されはじめ、純度が高く濁りがないことを特徴とする高品質な陶石として、広く使用されてきました。本展では、その熊本県産の天草陶石を使用して有田・波佐見の窯元とつくった、約170種類の多様なデザインのカップを展示・販売します。販売収益金は2016年4月に発生した熊本地震の復興支援のために寄付させていただきます。

カップは、被災地の1日も早い復興を願い、第一線で活躍するクリエイターから新進気鋭のアーティストまで総勢約170人がボランティアでデザイン。長い歴史の中で培われた伝統技術を受け継ぐ有田・波佐見の窯元が、一つひとつ手作業でカップを製作しました。その職人の思いを守りながら、今回橋渡しをしたのは、半世紀にわたり有田に根付く焼き物の産地商社キハラ。それぞれが持つクリエイティブな力をつなぎ、熊本の未来を応援します。真っ白な磁器に藍色が映えるカップを購入することで、誰でも、デザインを日常に取り入れ、伝統技術に触れながら、そこに込められた思いとともに、チャリティーに参加することができるプロジェクトです。

<展覧会概要>

- 展覧会名 CREATION Project 2016
170人のクリエイターと有田の窯元がつくる熊本天草陶石の磁器展『藍色カップ』
- 会期 2016年11月22日（火）～12月24日（土）
11:00～19:00 日曜休館 入場無料 ※11月23日と12月23日の祝日は開館いたします
- 主催・会場 クリエイションギャラリーG8
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1階
TEL 03-6835-2260
ガーディアン・ガーデン
〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビル地下1階
TEL 03-5568-8818
- 制作 株式会社キハラ
- 後援 熊本県、佐賀県

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit.jp/support/form/>

■カップ仕様 素材：磁器（電子レンジ、食洗機可）／サイズ：φ85mm H80mm

■販売価格 2,100円（税込）



■販売方法 ①会場販売：展覧会会期中、各会場で販売、その場でお持ち帰りいただけます（万が一売切れの場合は下記、通信販売をご利用ください）。

②通信販売：「ポンパレモール」<http://store.ponparemall.com/r-2gallery/> でも会期初日から2017年2月末までの期間、販売を行います。会場で売り切れのものも、会期中、通販に限り、予約注文をお受けします。会期終了後は在庫分のみでの販売となりますのでご了承ください。ご購入分のお届けは、会期終了後から2017年3月末を予定しております。

■寄付先 収益金（売上から製作費をひいたもの）は、熊本県の「平成28年熊本地震義援金」（予定）へ寄付させていただきます。

■ビジュアル資料

<クリエイションギャラリーG8展示作品>



色部義昭



宇野亞喜良



葛西薫



佐藤卓



仲條正義



ひびのこづえ

<ガーディアン・ガーデン展示作品>



秋山花



石原一博



尾崎仁美



寺本愛



樋口佳絵



fancomi

■ 出品予定作家一覧（五十音順・敬称略）

クリエイションギャラリーG8

青木克憲
秋山孝
浅葉克己
池澤樹
居山浩二
色部義昭
上田三根子
上西祐理
宇野亞喜良
えぐちりか
遠藤享
太田徹也
大原大次郎
岡田善敬
岡室健
小田桐昭
小野勇介
柿木原政広
葛西薫
勝井三雄
鎌田順也
上條喬久
川上恵莉子
菊地敦己
木住野彰悟
木下勝弘
草谷隆文
久保悟
小杉幸一
古平正義
小林洋介
近藤ちはる
榮良太
左合ひとみ
ささめやゆき
佐藤卓
佐野研二郎
澤田泰廣
下谷二助
白本由佳
新村則人
鈴木守
関本明子
副田高行
大黒大悟
高井薫
高田唯
高谷廉
田中竜介
田中良治
谷口広樹
天宅正
内藤昇
永井一史

永井一正
永井裕明
中川憲造
ナガクラトモヒコ
中島信也
中嶋貴久
仲條正義
長友啓典
中山尚子
薙野たかひろ
はせがわさとし
服部一成
林規章
原耕一
原野賢太郎
日高英輝
日比野克彦
ひびのこづえ
平野篤史
平林奈緒美
平松尚樹
ヒロ杉山
福岡南央子
福島治
藤枝リュウジ
松永真
丸橋桂
三木健
水野学
峰岸達
宮田裕美詠
村上雅士
八木秀人
箭内道彦
矢吹申彦
山口はるみ
山田英二
山本タカト
ユムラタラ
湯村輝彦
蓬田やすひろ
若尾真一郎
ワビサビ
アラン・チャン
スタシス・エイドリゲヴィチウス
フィリップ・ワイズベッカー
ポール・コックス
リチャード・ケール
ロドニー・グリーンブラット

ガーディアン・ガーデン

Aokid
秋山花
ASADA
雨宮庸介
飯田竜太
石川マサル
石原一博
一乗ひかる
イトオハジメ
上田風子
大小島真木
大島慶一郎
小川雄太郎
奥原しんこ
尾崎仁美
我喜屋位瑛務
鯉とニメイ
川島沙紀子
木村晴美
qp
黒田潔
ケツソクヒデキ
小阪淳
斉藤涼平
堺友里
榊原美土里
佐貫絢郁
塩田雅紀
清水雄介
下野薫子
末房志野
杉山実
鈴木葉音野
関川航平
大門光
武田厚志
谷口典央
玉置太一
寺本愛
中島あかね
長浜孝広
檜崎萌々恵
成田久
西谷直子
早崎真奈美
樋口佳絵
百田達三
fancomi
藤田恵
古谷萌
町田尚子
水越智美
水野健一郎

溝端貢
宮下良介
宮原万智
millitsuka
森本将平
山川結女
山田七重
山本ヒロキ
YUKARINA
横山かおる
吉田芙希子
ラジカル鈴木
LEE KAN KYO

■藍色カップとは

熊本県天草地方で採掘され、純度が高く濁りがないことを特徴とする、高品質な天草陶石を原料として使用し製作しています。また、数多い工程をそれぞれ専門の職人が、ものづくりにこだわり、丁寧につくりました。

1. 陶土づくり：天草陶石を3~5cmに砕いたあと、杵と臼で粉末状にし、水を加えて攪拌。水にとけた粉を沈殿させ、粘土（陶土）にします。
2. 生地づくり：カップの外形の型に陶土を入れ、内形の型で上から圧をかけて成形し、丸1日自然乾燥させます。
3. 窯入れ：900度で素焼きして水分を飛ばしたあと、余分な土のかたまりや粉をはたきおとし、透明な釉薬をかけて1,300度で焼きます。
4. 絵付け：絵柄を印刷した転写紙をカップに貼り付け、1,190度で焼きます。



■藍色カップ特設サイト

<http://rcc.recruit.co.jp/creationproject/>

全種類のカップのデザインと出品クリエイターの情報をご覧いただけます。藍色カップができるまでの製作工程や、関わった方々などもご紹介しています。

■キッズワークショップ –藍色カップをつくろー

12月3日（土）開催

好きな形に切り抜いた転写紙シートをカップに貼り付け、オリジナルの藍色カップをつくります。

場所：クリエイションギャラリーG8

対象：小学生

定員：各回15人

時間：（1）11時～12時30分 （2）14時～15時30分

参加費：2,500円（カップ1点の制作）

講師：大原大次郎（グラフィックデザイナー）、檜崎萌々恵（イラストレーター）

技術アドバイザー：池田和浩（株式会社キハラ）

要予約：TEL 03-6835-2260

焼きあがったカップは焼いた後に送付します。

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、ひとりひとりにあった「まだ、ここがない、出会い。」を届けることを目指していきます。